

# ●Logoフォーム上での意見募集結果一覧（R5.11.4～R5.12.31） ※テーマ別、年代別、回答順

No.	年代	「テーマ1：子どもにやさしいまちって、どんなまち」についての思いや考え。	左記、理由
1	小学生	公園の遊具が充実（具体的には昭和記念公園のような遊具）しているまち。	楽しいから。近くにあればいつも連れて行ってくれるから。
2	小学生	落としたものに気づいて声をかけあえる、悩みを一人でかかえこまない町	家の鍵などをなくすととても困るのでそんな時に助けてくれる人がいる町がいいと思った。一人だと解決できないことが相談できると心がふわっとなるから。近くにたくさんいてくれるといい。
3	小学生	子供にとって過ごしやすい街 障害児に対して理解のある街	今まで育ててきて障害児を理解していない大人が多く、色々言われたりしました。広く優しい心で見守ってほしいなと思いました。
4	小学生	ワカモレサラダ	美味しいから
5	小学生	公園が沢山あるまち。子どもだけでも安心して遊んだり勉強できる場所があるまち。親や学校の先生の他に、児童館の先生や近所の大人とも挨拶ができるまち。いろんな大人が見守ってくれているまち。児童館が欲しい。	放課後に、自分の好きな場所に行きたいから。公園が沢山あればその日の気分で友達と選んでいくことが出来るから。友達とゲームをしたいときに児童館があれば一緒に遊べる。ボール遊びできる公園がないと困るから。雨の日や夏休みで暑い日も、快適に遊べる場所がないと遊べない。
6	小学生	みんな、危ない事をしないでちゃんとしてるけどのほほんとして、平和な感じ	事故とかが減るから 楽しいから
7	小学生	子ども達が学校や地域の大人に見守られながら、伸び伸びと健やかに暮らせる場所。 安全性も含め、大人たち【保護者だけでなく地域に住む人々】がコミュニテを作り連携できる環境がより望ましいと思います	子どもが健やかに楽しく過ごす環境は 学校だけに頼るのではなく、学童クラブ 児童館、公園施設、地域イベントでの繋がり 地元で活性化してほしい
8	小学生	色々な遊具があるところ 遊べるところが多い	色々な遊具があって、遊べるところが多いと、 ひまなときに遊べし、色々な事ができるから。
9	中学生	遊びの場や学びの場が多くあり、学校や家以外にも居場所がある。又は居場所を作ることができる町。	近年学校に行くことが出来ない自主休校児が増えて来ている中で、心の底から安心できる居場所を提供できれば、子供達もゆっくり休んだり、相談する事ができると思う。
10	中学生	大声で走り回ったりボール遊びをのびのびできるところ。親以外の地域の大人が子どもたちをゆるやかに見守っていてくれるところ。理不尽に大人に怒られないところ。	公園が近所に少ないし、あっても狭かったり、静かにしないといけない看板があったり、ボール遊びをできないところばかりでストレスを感じる。子どもたちで遊んでいて機嫌の悪いお年寄りに怒られて嫌な思いをしたことがあったから。
11	中学生	子どもの発想を大人が邪魔しない街	親が子どもの可能性を塞いでしまっている世の中になっている
12	中学生	遊べるところがたくさんある町	今は遊べる場所が少なく、つまんねえから。
13	中学生	地域の互助により 子供達が安全生活できる街	
14	高校生	大人がしっかり管理するまち	意味不明な大人や暴力を良しとする大人達、変態男を女と認める大人達がいるため
15	高校生	子どもにやさしいまちとは、まず前提として対象となる「子ども」に中高生も含まれること。その上で子どもの意志を尊重できる場(プレーパークなど)が確保されているという事。	私は生まれてから今までずっと杉並区で育ってきた。杉並で過ごした16年間で感じていることは、現在の公園や児童館と言った施設は「幼児から小学生まで」などという暗黙の了解が存在しているという事である。特に公園では、そこでただ世間話をしているだけの中学生が学校に通報されるという事態が、私の世代で生じた。通報された彼らは、別に大声を出したとか物を壊したとかいう大事はせず、本当にただその公園に存在しただけで「中学生が近所迷惑を起こしている」と通報が入ったのだ。また別の事例では、同学校の中学生が下校中、ただ単純に談笑しながら帰っているだけで「下校中の中学生が怖い」という理不尽極まりない内容で学校に通報された。そして、前者も後者も通報者は外部からその地域に引越しをしてきた人であった。このことを行政の方々には御存じなのだろうか。 とはいえ、私は杉並区は引越しを受け入れるということが言いたいのではない。杉並区、ひいては我が地域は他の区・地域と比べると住民の結託が非常に強い。誰が引越してどういった人が新しく入ってきたのかが即座にわかるほどだ。それゆえ、部外者(学校の人事異動を含む)を嫌がる傾向にあるとここ数年で感じている。それは、数十年をかけた強力な結託の末に生まれた規則が乱されるからだ。地元民の中では多少の子どもの悪戯は許容される。しかし新参者はそれを許容しない。また地元民は高齢が多い様に感じる。そのため新参者が勝手なルールを地元民である子どもに押し付けているのだ。これを何故、行政の方々は無視しているのだろうか。或いは何故、知ろうとして頂けないのだろうか。 「子どもにやさしいまち」ならばいくらでも作ることができる。公園を整備する、児童館を作るなどすればいいのだから。しかしそれは決して「子どもにとってのやさしいまち」とは成り得ないことをご理解頂きたい。子どもとは幼児から小学生までをさすという考えでなく、「子どもには18歳になる年度までの人も含む」という事をお含みおき頂いた上での条例制作をお願いしたい。そして、プレーパークのように真っ先にこの事実を知り全ての子どもを対象とした活動をしている方々の事も、放置するのではなく、区がもっと大きな後援となって支えてくれればいい。区がいきなりアクションを起こすのではなく、先進的に活動する人々とタッグを組むことから始めることが大切だと思う。
16	その他学生	左翼の活動家が来ない街。	暴力的な行動、恐怖で従わせる左翼の活動家を駅前などでよく見かけるようになり住民も子供も怖がっている。 区長が変わり杉並区が酷い街になり悲しい気持ちになる。
17	その他学生	外で伸び伸び遊べる事。最近公園で遊ぶと年寄りからうさいと苦情が来ることがあるので。	地主が多いのでその力関係もはたらいている。
18	その他学生	公園や児童館、子供が楽しく遊べる場所がある町。校庭解放がある小学校がある町。	放課後に遊びに行ける場所がどんどん減っているから。ボール遊びできる場所がない。
19	その他学生	子供が公園で安心して遊べる、親が安心して遊ばせられる街 子連れの人に優しく接してあげられる人間(年齢問わず)が多い街 地域全体で子育てをするという意識を持った人が多く暮らす街	昔は家族構成的にも助けてくれる大人は身近にいた。単身が4割を超え核家族化が進む今の社会において、血のつながりより社会全体が支えてくれるという事が子供にとって、子供を育てる親にとって、そして今後の社会にとっても大切だと思うから。
20	それ以外	いろんな人が声をかけて見守ってくれるまち	子どものふるまいに冷たい目をむけられているように感じるが、知り合うといい人が多いから
21	それ以外	大人・開発者が子供の目線を知る事→街中で子供が感じている事を知る→交通・公共施設・商業・住宅街各エリアに子供目線が組み込まれる→高齢者にも対応可能になる→バリアフリー・ユニバーサルデザインの街杉並区	子供たちの将来へ投資する。実現できれば、定住促進、流入促進、税収アップ、経済効果が期待できる。
22	それ以外	泣いても笑っても、大声で遊び回っても、ただポーっと過ごそうとも、そとやさしく見守ってくれるまち すぐに児童相談所へ無責任な通報をしたり、区の健診でその子自身を否定したり、親の気持ちを蔑ろにしないまち	このまちで子育てするには窮屈すぎると日々感じるから 少しでも泣いたり癩癩を起こしたりしたら児相通報され、笑って大きな声で遊んでいたら裏の家から「うるせえ！」と叫ぶ声がかかれ、区の健診では保育園に通わずに自宅保育（自らの希望により3歳までは自分の手元で育てたい思いがあったの方針なのに）を「集団生活に遅れがある」と否定され、幼稚園の入園相談のため保健センターへ行ったならば「どうしても入園させたいのならお母さんあなたが働きに出るのが1番確実」とわけの分からない回答をされ、つくづくこのまちに不信感と嫌悪感がつのるから
23	それ以外	子供たちが遊ぶ公園や遊歩道での路上での喫煙、吸い殻のポイ捨て、ゴミのポイ捨て等 大人のこうした行為を無くしましょう。	2021年に国の受動喫煙防止法が改訂され、人のいる歩道などでの喫煙は禁煙を義務とする旧法に変えて、30万円以下の過料を科す違反行為となりました。隣の世田谷区では、路上喫煙を禁止とし、諸所に注意看板を掲示しています。杉並区では、歩行喫煙の禁止と吸い殻のポイ捨て禁止の掲示はありますが、立ち止まりあるいは座り込みでの路上喫煙は認可されており、区の遅れた対応は腹立たしい限りです。子供たちの目にはそれが当たり前の環境として映ります。
24	それ以外	こどもの声や、赤ちゃんの声が「騒音」扱いはれない町	公園では制限だらけ、学校のチャイムはない、それは全てに大人の都合だと思います。
25	それ以外	子どもを大切な人として関わる事ができる大人がいっぱいいるまち	子どもはどの子もそれぞれが精一杯その時を生きている事を受け止め理解してから大人として関わることで、子どもが大きくなった時に同じように他者容認できるようになると思います
26	それ以外	こどもの考えや意見を尊重できるまち。こどもの目線に合わせて行動できる大人が多いまち	こどもを中心に考えることが出来るため
27	それ以外	・子どもたちが安心して歩きやすいまち。みとおしよく歩道整備されたきれいなまち。 ・明るい公園や遊び場があるまち。 ・子ども連れでも気軽にいれる店があるまち。 ・オムツ定期便をはじめ乳幼児が育てやすい	・道路がきたなかつたり、歩道がせまかつたり、見通しが悪かつたりする道があるので、子どもたちが危なくないように ・公園があっても、木が生い茂り暗い公園が多いから。 ・子ども連れで入れる飲食店が少ない ・オムツ定期便や、とにかく乳幼児を育てるのにかなりのお金と労力があるから。
28	それ以外	騒音苦情などいわれる心無いノイジーマイノリティの意見により保育園建設が阻害される、あるいは公園での遊具の使用に制限がかかるなど、子供の居場所を奪うことを行政が行わない街。	長野県でも1人の騒音苦情により結果的に公園がなくなるという尋常ではないことが発生しており、杉並区ではこのような子供の居場所を一部の心無い人間の苦情だけに左右されて奪うことがないよう願っているため。延べ人数ではなく実人数で少なくない苦情が来て初めて対応を考えていただくよう願っているため。
29	それ以外	子どもを「未来を担う存在」としてのみでなく、「現在の社会を構築する一員」として正面から捉える。「子どもの意見だから」を「～耳を貸さない」ではなく「貴重な意見だ」とする姿勢が必要。	「子どもは口を挟むな」、「大人には大人の事情がある」という言い方は責任を放棄していると考えるから。
30	それ以外	子供が安全に遊べる場所・子供が安全に教育を受けられる場所がある街だと思います	特に、子供の教育については、少人数学級や塾などを含め、子供に関わる大人に、性犯罪などの前歴がない、という安心が必要だと思います。国では法案の提出が先送りとなり非常に残念ですが、東京都または杉並区レベルで何か対策ができないでしょうか。 また、子供が安全に自由に遊べる場所としての区立公園の充実・拡充が必要だと思います。

# ●Logoフォーム上での意見募集結果一覧（R5.11.4～R5.12.31） ※テーマ別、年代別、回答順

No.	年代	「テーマ1：子どもにやさしいまちって、どんなまち」についての思いや考え。	左記、理由
31	それ以外	子どもにやさしいまちは親にもやさしいまちだと思います。 遠慮せずお店に入れたり、遠回りすることなく目的地に行けたり、小さい子ども連れでも気兼ねなくいつもの生活ができるまちであってほしいです。	西荻窪エリアに住んでいますが、子ども連れて入れるお店が非常に少ないです。 テラスのようなところでベビーカーを席につけて食事をしたり、フードコートのような場所で子どもが泣いたらすぐ持ち帰りに変更できたり、気兼ねなく自由に立ち寄れる場所があればなとも感じています。 目的地に行くとき、道幅が狭かったり道路がデコボコしていたりして、子どもを連れてくるときは遠回りすることもよくあります。 食事も買い物も子どもを連れてくことで制限されることがあるのは残念に思います。
32	それ以外	子どもの遊び場や居場所がたくさんあるまち。子どもが生活しやすいまち。	子どもの居場所、特に杉並区は幼児の遊び場(子育てプラザ)は充実していますが、小学生・中学生の室内の遊び場が不足しているように感じます。子育てプラザの小学生・中学生が遊べるような施設が杉並区にもあったらいいのになと思ったので。
33	それ以外	子ども中心。大人の都合で子供の居場所を無くさない。	下井草地域は、向井公園にあったボールネットが移設され、児童館が無くなり、放課後居場所事業が始まった事で校庭開放が無くなり、小学生が自由に子供達だけで遊べる場所が減ってしまいました。 一部の大人は放課後等居場所事業が始まったからむしろ遊び場が増えたと言う方がいますが、我が子は「大人に監視された場所で遊びたくない。時間によって遊ぶ場所や内容が決められているので放課後居場所には行きたくない」と話します。 移設されたボールネットは校庭開放が無くなった今、下井草地域唯一の球技施設ですが近隣からの苦情が多く、怖がって安心してボール遊びができない状況です。 我が子の小学校は全面芝生になっているため校庭の養生期間がとても多く、学校生活の中でも校庭を思い切り走り回れる機会が少なく、子供達は辛いと話しています。 校庭の養生期間中は狭い場所に子供達が密集しているため接触による怪我をして帰ってくる事が多いです。 我が子達は校庭の全面芝生に反対していますが、学校側には全く聞き入れてもらえていないようです。全面芝生が良いというお子さんもいるとは思いますが、全面芝生が嫌だという子供の気持ちを变えようとする大人ばかりで否定的な気持ちに全く寄り添っていないように感じます。 子供達がこの杉並に生まれ育って良かったと愛着を持てる街にしていだきたく思っております。
34	それ以外	衣食住が公平な環境があること 安全であること 困ったときに、自ら発する事が出来る環境 子供が周りの雰囲気や遠慮せずに表現できる事	安全でなければ、自らやりたい事を考える事すらも結びつかないため。 生理的欲求がクリアしなければ安全にも繋がらため
35	それ以外	性犯罪がない街。 子どもがお金を払わなくても遊べる公園や児童館が充実する事。そこで働く職員さんの待遇良く、安心して子どもに関われる事。	児童館は親のコントロールなく、子供たちが遊べる大事な場所です。子供が子供だけの世界で楽しむことがとても大切。それが可能になるには、その場所で働く職員さん達が安心して仕事ができる環境作りが1番だと思います。
36	それ以外	子供がのびのび遊べる環境がある街だと思います。ボール遊びダメ、大声ダメ、花火ダメ、公園でさえ、制限が多いところが多すぎます。大人のマナー問題もあると思いますが子供が好き勝手に遊べるところがほしいです。	一緒に公園に行っても、ボールできないよ、自転車ダメだよと、子供にダメダメ言ってる事が多く、切くなります。子供もダメなの？と我慢していることが多いです。
37	それ以外	学校や家庭以外で子どもが安全に自由に過ごせる所が、住んでいる近くにあること。 子どもの生活圏で大人が見守ったり、関わったりできる暮らし	最近、こどもの生活圏が限られて自由がないように思う。また、地域の大人と子どもがふだんの生活の中で関わる機会も少ない。
38	それ以外	子どもの権利に関する条例の制定に向けたテーマへの考えとしては、ややずれてしまうかもしれませんが、「子どもがのびのびと、歩けるまち」が「子どもにやさしいまち」であると、日々感じています。	歩道にはひっきりなしに、スピードを出した自転車が走っており、曲がり角も含め、子ども（幼児）の手をはなして安心して歩くことはできません。自転車走行環境がヨーロッパの先進市のように整備されていない事情は承知していますが、車道走行や、狭く危険な車道沿いでは歩道を徐行することが徹底がされていれば、もう少し、安心して歩くことができます。生活道路でスピードを出して走る車も、常に用心の対象であり、子どもがのびのびと歩くことはとてもできません。 自分の子ども（幼児）が、親の手をはなして、一人でのびのびと歩くさまを想像してみます。楽しそうに、ときにはスキップをしたり、ふざけて小走りしてみたりすることもあるかもしれません。そのすぐ横を、徐行する自転車が子どもに注意深く気を配りながら、通り過ぎていきます。生活道路に入っても、一人で歩き続けることができれば、本人にとって、とても幸せなことです。曲がり角のたびに、走行する車はスピードを落とし、歩行者ファーストで運転してくれます。子どもを取り巻く人々の、やさしい気遣いが当たり前のように感じられるまちであれば、子どもたちはもっと早い時期から、親の手を頼らず、自分の足でのびのびと街なかを歩いて、好奇心のままにいろいろなものを見たり、立ち止まったり、楽しんだりできるようになると想像します。 子どもがのびのびと、歩けるまちは、弱者である子どもにやさしいまちであると思います。
39	それ以外	社会的養護の必要な子が施設に入所できる。虐待の通報にまともに取り合ってくれる。子供が一人で行ける場所に児童相談所がある。子どもの権利条約や人権について、大人も子供も知識を得られるような場所がある。	自分自身が虐待を受けており、警察に取り合ってもらえないなどの体験をしたため。児童相談所は子供が行きやすい場所にあることが稀だと感じているため。自身が児童福祉に関わる仕事をしているため。
40	それ以外	子供が無料で自由に遊べる場が豊富にあって、安全が保証されていること。 自然が豊かで、子供たちが心身健康で過ごせる街であること。	横浜（都筑区）からこちらへ引越してきた子育てでした。 自然の中で遊ぶ場が少ないと感じています。公園や神社など緑が多いところもありますが、建造物を破壊したあとの危険物が放置されていたり、子供たちが遊ぶにはすこし危険な場もあります。児童館なども利用させていただきましたが、屋内が中心です。それでももう少し自由に安心して遊べる場が増えるといいなと思いました。
41	それ以外	子どもの権利が守られ促進され、子どもだけではなく養育者たちが心理・社会・経済的に支えられているまち。草木が行き届いた公園と側道がある。	親や保護者との適切な関係性を保持する権利、基本的な食事の必要を満たす権利、教育を受ける権利、保護とケアを受ける権利、子どもの年齢と発達度合いから見て適切な 刑事法 の適用を受ける権利、人間としての独自性を発揮する権利などが守られるだけでなく、促進・実現されていくことによって、人ひとは豊かになる。
42	それ以外	学びたいことを学べる環境作りやサポート 世間の目が子供の個性（声や運動も含む）に優しい 子供と社会との関わりを持って皆んなで子供を育てていけたら理想ではある	今の世の中はほんとうに子育てしにくい世の中だと思います。子供の声がうるさい遊び場を制限されるなど子供が子供らしく伸び伸びできる場所が減っていると思う。また子供に対する予算が減られ給食センターの倒産の話も多数耳にし子供を大事にしない昨今の政治に悲しくなります。子供を今の時代に産んでしまったこと自体申し訳なく感じる世の中を何とかしたいです。今を生きる子供が希望を持って、明るくのびのびと成長できるよう後押しができる世の中になればと思います。学びたいことが学べやりたいことをやれる！そんな世の中だったら良いのに…
43	それ以外	どんな子どもでも自分の居場所が一つではないまち。元気に遊ぶことができる場所があって、たくさんの大人が当たり前のように見守る中、安全で、子ども目線での自由が守られるまち。	小学生から乳幼児の子どもを持つ母です。近年「子どもファースト」など子どもを大事にするような傾向ですが、子育てをする大人に対してのサービスばかりが充実していると感じています。子育てをする大人にとってはやさしくなっているけど、子どもにやさしいわけではありません。  子どもの居場所を考える年齢は小学生以降の子どもたち。何かあった時に家庭、学校以外にも自分の居場所があるといいと思います。昔であれば友達の家だったかもしれませんが、共働きが増え、自由に家を行き来できる家庭も減っています。公共の場にもっと居場所ができたらいなと思っています。 児童館は子どもにとっていい場所だと思っていましたが、子どもが小学生になって見方が変わりました。学童の子どもを「お帰り」と迎え、お菓子が提供され、学童に入っていない子どもは「こんにちは、いらっしゃい」と言い、持参のお菓子を食べる（コロナ禍ではそれすらNG）。 これは大人にとっては当たり前でも、子どもにとっては差別でしかありません。学童に入っていない子どもが、この差別が嫌で、小学生になった途端に児童館は自分の居場所ではないと寄り付かなくなったと言う話も多く聞きます。学童に所属する子の安全管理のため、入退館の管理は必要だと思いますが、部屋を分けたり、おやつを分ける必要はないのではないのでしょうか。例えば様々な家庭への現金支給よりも、（学童所属にかかわらず）児童館に来た子どもに対して、一日一回、公費で（子ども目線では誰でも平等に）おやつが支給されると言った取り組みにした方が、子ども目線では嬉しいと思います。（アレルギーの問題があるかもしれませんが、それは学童でも同じです。アレルギーの子どものみ持参にしたい）  乳幼児を連れて昼間に公園で遊んでいると、何度か子どもたちの声で苦情を受けたことがあります。泣いていたわけでもけんかをしていただけでもありません。ただ、人数が多くなってしまうと、それなりのボリュームにはなります。大人であれば静かにすればいいのですが、子どもにとって公園で静かに遊ぶと言うのはなんだか妙です。どうしても公園と住宅の距離が近くて相容れないのであれば、公園は遊びの場ではなく、憩いの場と在り方を見直し、屋内施設や屋上施設で子どもたちが元気に遊ぶことができる場所があるといいと思います。
44	それ以外	和田堀公園の「お願い テント・タープ等の利用は禁止です。」の看板は、子育ての親子にとって、厳しい遊び方の制約であり、やさしいまちとは言いがた、公園管理事務所に立て看板の再考をお願いしたい。	和田堀公園に「お願い テント・タープ等の利用は禁止です。」の立て看板が現れて、コロナの引き籠りの最中に、子育ての親子が編み出したキッズテント遊びが消えた。（年寄には遠くから見るだけで心温まる姿であった。） キッズテント（1m四方程度）遊びは、大型テントのように公園を占拠することも金属ベグを打ち込む訳でもないで危険は皆無なのだが、公園管理事務所は何を恐れているか？ テントを一括りに使用を禁止してしまつた。 この公園は車の侵入もなく安全で、小さな子供の絶好の遊び場であり、遊び方の制約も最小限にして、楽しく遊んで欲しいものである。
45	それ以外	大人も心に余裕を持って暮らせる街。	

# ●Logoフォーム上での意見募集結果一覧（R5.11.4～R5.12.31） ※テーマ別、年代別、回答順

No.	年代	「テーマ1：子どもにやさしいまちって、どんなまち」についての思いや考え。	左記、理由
46	それ以外	車の通行が制限されていて、清潔なトイレで見通しの良い口臭トイレがあって、遊具だけでなく多様な木が落とす実や葉があってそれらをつかって伸び伸び遊べる公園がある街。買物、遊び、仕事など多様な機能を持つ街。	公園は遊び方を限定せず、子供の自由な発想を喚起する適度にコントロールされたもの。車や公衆トイレは安全のために。
47	それ以外	我が子だけでなく、他人の子も我が子同様に思い、見守れるまち。街で子どもが泣いていたら、子どもに大丈夫？と話しかけたいと感じる大人が多いまち。話しかけてくれた方に感謝を感じる親がいるまち。	言葉どおりです。子を持つものすごい、子は現在小学生になりましたが、まわりの方に助けてもらって、今にいたることを実感しているからです。
48	それ以外	自由に遊べる場所、走り廻れる場所がある街！ また、子どもが安心して過ごせる街 (親が安心出来る場所とイコールかもしれないです)	公園で、ボール遊びが出来る場所が限られている！ 児童館が少なくなって来ている！ 飲食は禁止しているので、もっと、飲食も出来て安心して過ごせる場所があると良いと思う！ 子どもが走り回ると迷惑そうな顔をされるし、声を出しているとうるさそうな顔をされるので。
49	それ以外	子供の遊び場である公園等を大人がデモなどで占有して大声を出したり、「神はあなたを殺す」などの脅迫をする政治的で物騒な集会を区が後援したり、子供の権利と称して包括的性教育を企んだりすることがないまち。	区政の酷さが目に余ります。区民の分断を煽らないでください。
50	それ以外	思いっきり自由に遊べる場所、緑豊かな善福寺河川敷、関東バス五日市街道付近は今水道工事30年間通れなく閉鎖するようですが、そのようなことは避けて、動ける場所を確保。問題あれば相談できるところがあること。	心身共に良く育つことが出来るように
51	それ以外	子供優先トイレ、広いスペースのトイレ 子供だけでも入れるお店(スペース)	子供を連れて出かけると大変な事が多い。 子供だけで行ける場所は、外で遊んでいたりしても何かあった時に頼れる場所になると思うから。
52	それ以外	子供を政治利用する活動家がない街 区長が中立で、西荻アピールの様な団体との関わりをきちんと避けられる街 きちんと災害対策がされている街 ゼロカーボンとか誇大妄想をしない街	岸本区長になってから治安が悪くなったのを実感している。 なので岸本区長が普段つるんでいる様な輩との関係を、キチンと断る事が出来る区長のいる街が良い街である。 今の区長には関係断てないでしようから、早く辞めて頂いた方が、区民が幸せになりますよう。
53	それ以外	小学生低学年から子どもだけで公園で安心してあそべると良いと思いました。また、放課後に子どもが集まれる場所が沢山あると嬉しいです。親の経済状況に問わず、学びたい事が学べるまちが嬉しいです。	現在は、防犯の面で外で子どもたちだけで遊ばせるのに不安があります。性被害の加害者の多くは実は顔見知りだったというデータもあります。自分の子どもを守るのは両親か、警察や警備会社など信頼できる第三者だと考えています。防犯カメラの拡充やパトロール強化、安心して子どもたちが放課後集まれる場所の提供をお願いしたいです。
54	それ以外	子どもが健やかに成長できる「まち」、即ち、彼らが安心して安全に過ごせる「まち」だと考えます。例えば、交通安全面に於いて、現状の杉並区は全く「やさしいまち」ではないと考えます。	杉並区の道路は幅が狭いところが多く、路側帯も極端に狭かったり、そこに電柱等の障害物があったりで、車道に出ることを余儀なくされることも少なくありません。然るに、安全性を高めるための道路の拡幅工事が進んでおらず、あろうことか計画の見直しまで考えんとしていることは、まったく「やさしいまち」ではないと考えます。
55	それ以外	・公園や公共施設が子ども優先になっている。 ・フードコートがある。 ・バスや公園に「子ども優先席」がある。 ・子育て中の親御さんが優先されている。	同じ外食でも、フードコートではお子さんが楽しそうにしていると感じます。例えば武蔵小金井駅前のイトーヨーカドーや昭島駅前のモリタウンです。 優先席については、高齢者は当たり前のように座っておられますが、お父さんは頑張っって立っていることが多いです。親御さんと一緒に座ってもらって、楽しくバスや電車に乗って欲しいです。
56	それ以外	現在不登校の支援活動をしています。学校に行けない子のための居場所があるのが、子どもにやさしいまちだと思います。 居酒屋さんなど日中空いているお店など、まち全体で学校に行けない子を見守るようにしたいです	子ども2人の不登校を経験し、居場所のなさに困りました。今も多くの家庭が困っています。子どもたちには理解のある大人の存在が必要です。学校の先生でも親でもない大人が、悩んでいる子どもを救うこともあります。
57	それ以外	お休みの日に、公演で大勢のデモ隊が大騒ぎしない町。デモ隊が道をふさいで、普通の人が通れなくなったり、大音量の音楽や叫び声でうるさくしたりしない町。お買い物に行く町で、デモ隊とデモ隊がケンカしない町。	最近、高円寺、荻窪、西荻でデモがたくさんあり、お休みの日に子ども達と公園で遊んだり、お買い物に行ったりすることが億劫になってきました。デモ隊の人も、お酒を飲んだり、たばこを吸ったりで、真剣に活動しているようには見えません。特に子どもの前で大人が泥酔する姿は、あまり見せたくありません。また、デモ隊とデモ隊が衝突して、警察が出動することもあり、子どもが怖がってかわいそうです。
58	それ以外	身近に、生き物や自然に触れ合える場所が大切に守られていること。	コンクリートの中じゃわからない、大人の言葉から教わるだけではわからない、本物の様々な命に触れ合える場所が、子どもにとっての最大の教材で、それを学ぶ権利がある。 やさしいまちの大人は、それを十分理解して、未来の子どものために、それらを大切に残していく義務がある。
59	それ以外	町中で子どものグズリ、暴れに対して、寛容である(嫌な目で見ない・言わない。優しい声掛け)のびのびとボールや声を出して遊べる公園がある 子どもに対するサービスがある(子ども家庭への家賃補助、食料補助)	時々、町中で子どもを連れてると優しい声掛けしてもらえたり、心があつまるから。 また、子どもがいると家賃や食費がどうしてもかかってしまうから。
60	それ以外	公園！緑！！以前目黒区に住んでいた頃は、公園が少なく特にボール遊びができる公園が少なく、週末は場所の取り合いでした。善福寺緑地の近くに引っ越してきて、子供たちが存分にボール遊びできて幸せです！	善福寺緑地（五日市街道より北）の住民です。23区でなかなかこまごまの自然、川と緑の調和、そして広い場所で自由に遊んだりボールを蹴れる場所はないのではないのでしょうか？子供たちがのびのびと遊び、ボール遊びができること。とても普通に聞こえますが、23区内ではそんな普通もままならない。杉並区はそれを誇りに思い、絶対に大事にしたいと思っています。自然を感じられるこの環境も子供の成長にとっても潤いをもたらしています。杉並の緑と公園を自当てに引っ越してくる子育て世代はこれからも増えると思います。ぜったいなくさないでください！
61	それ以外	子供が自らの意思で決定できる。食い違うものは話し合いですり合わせる。 例えば、校則や区の条例など。	これからの時代は、決められたものを遂行するよりも、自ら決めて遂行する方がより責任をもって進められると思うから。
62	それ以外	区立の中学校に行っても、区立の一番手の高校も含めて進学できるまち。	私立と公立の格差が広がっている。 杉並区は、私立中学を受験する子が半数おり、公立に行くと頑張っても勉強してもトップの公立は狭き門。西校には、学芸大附属などからが一番多いのだとか。税金が高い上に、公立ではまともにも育てれないとなると、子育てにお金がかかり住みやすい町とは到底言えない。子どもたちが、遊びも学びも格差なく平等にチャンスがある町にして欲しいです。
63	それ以外	年齢、性別、住んでる場所、障害の有無、種類、程度に左右されることなく過ごしたい場所で過ごせるまち。やりたいことを周りが全力で支えてくれるまち。	医療的ケア児の母です。上記に書いたことが叶わないときが多くあります。何かあると障害の重さが、医療的ケアが壁になります。子どもにやさしい、の子どもには障害児と呼ばれる子は入らないのでしょうか？
64	それ以外	大人たちが子どもたちをやさしく見守ってくれるまち	
65	それ以外	トイレ！となった時に子供も安心・安全・衛生的に使えるトイレがある街。	大人と違って急にトイレが必要になったり、赤ちゃん連れのオムツ替えの場所に苦労する場面があるので。
66	それ以外	どんな障害があっても地域で楽しく暮らせるまち	呼吸器をつけた子どもの母です。子どもが呼吸器をつけた時点で呼吸器の受け入れのある児童発達支援がありませんでした。幼稚園に通いたく、区に相談しても幼稚園は関知していないのことで実現できませんでした。地域で地域のお友達と交流しながら成長できるまちが素敵なおまちだと思います。
67	それ以外	大人の目を気にせずに遊べる場所がある。 障害があってもなくてもみんなと一緒に学べる、遊べる場所がある。 インクルーシブという言葉を実現するまち。	障害をもつ親御さんと接する中で、障害の有無で社会から孤立していると感じている方が多くおられます。子どもたち同士は障害があってもなくても区分けするような意識はなく、お互いを受け入れています。子ども時代に隔てなくみんなと一緒に生きていくことが当たり前と思えることは、その子達が大人になった時を想像すると、誰もが生きやすい社会になるのではないのでしょうか。 子ども時代に誰とでも一緒に過ごす経験は未来にとって宝だと思います。
68	それ以外	どんな子どもも大人に怯え遠慮することなく、その成長発達のために必要な場所・時間が提供されるまち 自分の子か否かに関わらず子どもを守ることは、全ての大人の責任という共通価値観が浸透しているまち	自分が子どもの時に支えられたことを忘れていいのか、子どもに対し厳しい言葉を投げる大人が一定程度おり、その一部の発言が社会全体の意見であるかのように、肩身が狭い思いをして子育てをしている家族が大変多いと感じます。どんな子どもであっても、その存在自体が社会の宝です。子どもがいない世帯にとっても、将来自分の生活を支えてくれるのは、その時の現役世代というのが今の日本の仕組みであり、全ての子どもの健やかな成長が自分の将来を左右するという事実を理解すべきです。子育て罰などという言葉が受け入れられるような社会に未来はありません。子育て世帯に選ばれるまちこそ、将来にわたり維持発展できるまちとなると考えます。
69	それ以外	障害児への理解がすすんだまち	6歳の障害児を育てている親です。障害者への理解が進んでいると最近感じております。しかし日常まだまだ苦労することもあります。子供に限ったことではないのですが、エレベーターに乗るのに、歩行可能な方がいなかなか乗れない。電車の車椅子スペースに人が立っていて困る。スーパーと一緒に買い物に行きたいが車椅子が大きいので邪魔がられる。などなどです。周りに障害者がいないと、どうして困るのか、わからないものです。障害者、障害児の認知度を増やしていけたらいいなあ、と思います。
70	それ以外	○経済的・身体的・障りに差別のない街。 ○困難があった時にすぐに助けられる組織のある街。 ○こどもにやさしい＝おやにやさしい	○障害児を育てているが、差別や地域の冷遇に合う事が多々あるから。 ○緊急性のある事態には、親族以外に頼れる場所がないから。 ○小学生の子供の預け場所(放課後デイサービス)に日数制限がかり、親の社会進出やキャリアを阻んでいるから。
71	それ以外	まず戦争や犯罪等による身の危険がないのが大前提。自由な中にもルールがあり、ある程度の秩序が守られている。 自分も自分以外の人も大切にしようと思う心を、みんなが持っている。	Q2の内容は、大人にとってのやさしいまちにも当てはまると思うから。大人がいきいきしていると、子どももそれを受け継ぐのでは。
72	それ以外	安全であること、親が安心であること。児相や一時保護、健診やサポートの充実。親子で区が好きになる工夫。	街が住み良ければ、人は穏やかに暮らせるから。

# ●Logoフォーム上での意見募集結果一覧（R5.11.4～R5.12.31） ※テーマ別、年代別、回答順

No.	年代	「テーマ1：子どもにやさしいまちって、どんなまち」についての思いや考え。	左記、理由
73	それ以外	・家庭と学校以外にも、子ども同士、子どもと大人が関わり合える場所がある街。そこは地域に開かれた場所であり、子育てをしていない大人も出入りすることができるような場所でもある。	子育てをしている親が肩身の狭いような思いをしなければならない風潮があることに違和感があります。子どもの声は、私たちがつては子どもだった大人に本来はそうであったよなという気持ちを思い出させてくれるものだと思います。色々な社会のしがらみに疲弊している大人が忘れてしまったことに気づかせてもらえる存在だと思います。地域で子どもたちの声が聞こえてくれば、家庭や学校だけに押し込められることなく子どもの姿が見えるようになれば、街も、大人も、明るくなるのではないかと願っています。そしてそれは、子どもたちが生き生きと、のびのびと成長することに繋がると思います。私は現在子どもを育てているわけではありませんが、私のように、子どもたちの健やかな成長のためにできることを一緒に考えたいと思っている大人はきっと沢山いると思うので、そのような大人も巻き込んで街全体で子どもたちの成長を見守ることができるような仕組みがあれば嬉しいと思います。
74	それ以外	道が広い、車、自転車、改造自転車が少ない。	改造自転車は危ない。
75	それ以外	必要以上に気兼ねしたりおびえたり遠慮したりせずに子育てが出来るまち。こどもは世界の財産だという目線で過ごす人たちが当たり前のまち。	子供を育てる中で、電車、買い物、道、公共施設、お店など、どうしてこんなに窮屈な思いで育てなければいけないのかと思うことが多々ある。こどもにのびのびない。特別なことを求めているわけではない。当たり前にも子ども大人もみんなが健やかに過ごせるようにして欲しい。
76	それ以外	明るいトイレがある町です。わくわく体験がたくさんできる町です。学費があまりかからないで、希望する学習ができる町です。	トイレがあると安心して出掛けられます。いろいろな体験を経験できると、将来の視野が広がります。所得制限で、私立は諦めました。学校外で体験が色々できると、補完できるかと思います。
77	それ以外	こどもに関わる全ての人々が「こどもの発達」について脳科学レベルから正しい知識をもつこと。その考え方の土台には共に学び共に暮らすインクルーシブな社会であること。	なぜならば不安を抱え子育てしている親御さんに間違った情報がいかにないように。小規模な託児所を運営していますが親からの相談事が後をたちません。保健所や公共の教育機関で「お子さんは遅れをとっている」と指摘を受ける方が多過ぎます。泣いて相談に来られる親の隣にいてもは障害でもなく遅れているわけでもなく、個性の範囲でほんの少し凸凹しているだけです。大丈夫ですよ、と安心して頂き、お子さんを預かり観察していますが、ほとんどのこどもが成長と共に凸凹が滑らかに改善されていきます。集団行動が苦手な子。一人倍共感能力が高い子。力の加減が未発達で体が大きい子。目の前のことに夢中になりすぎ切り替えが苦手な子。みんな違って当たり前なこども達と関わる大人に正しい知識があれば間違った捉え方はなくなり、こどももその親をも傷つける事はなくなります。親が笑って輝いていればそのこどもは笑って輝けるから！
78	それ以外	子供目線で子供と一緒に考えてくれる大人がいる街（健常児、障害児分け隔てなく）	子供が騒いでいたら、その理由を1ミリ考えずぐさま怒鳴りつけたり、白い目で見ると大人が激増しているように思う。それでは子供が萎縮してしまうばかりだと思う。
79	それ以外	子供に優しい街は子供と家族が結びついている街 精神的に未発達な子供に、LGBTなどの偏った思想を子供に教え込む第三者が介入しない街。	私は子供の権利条例制定否定的な意見です。子供の権利を隠れ蓑に、政治的イデオロギーを強行実現しようとする政治家がいます。子供はまだ精神的にも肉体的にも未発達。完全に保護者の管理下にあります。区が取り組むべきことは、子供の権利より、家庭が子供を守ることを第一とし、子供を守るため保護者への指導や教育などの取り組みと考えます。
80	それ以外	行政が特定のイデオロギーを無垢な子供にすり込みしないような街。最近の杉並区は岸本区政になってからその傾向が顕著すぎる。	子供を洗脳するな。
81	それ以外	子どもの遊び場である公園等を大人がデモなどで占有して大声を出したり、外国人から脅迫を受ける集会に区が後援したり、子供の権利と称して包括的性教育を行ったり、男が女性スペースに進入したりすることがない街。	子どもの成長にとって、悪い影響を与えると考えるため。 ○先日、難民・移民フェスで区民が参加している外国人と会話していると、神は貴方を殺すと何度も罵倒されたようです。子どもが同じように殺害予告とも受け取れることを言われると、にトラウマが残ってしまうのは間違いありません。政治的な主張を行うイベントに区が後援を出すべきではなく、寧ろ厳しく取り締まって欲しい。不芳滞在者が子どもに対して犯罪行為を行う可能性も充分考えられる。厳しく取り締まって欲しい。人権だからとして不法滞在者を擁護するようなことは子どもに教えないで欲しい。子どもの成長に悪影響です。 ○包括的性教育を望んでいるのは、極一部の保護者であって、全体の声ではありません。無責任に推進するのはやめて欲しい。子どもの成長に悪影響です。自分の性器を子どもに観察させて感想を述べさせるという児童虐待のようなことをした日本共産党の小池区議が教育に関わることは、区内の子どもの成長にとって悪影響です。変態に子どもの教育に関わって欲しいのでやめて欲しい。 ○身体男性が女性スペースに侵入してもよいという倫理観の欠如した大人に成長してしまうので、子どもの教育にとって悪影響。LGBはただの性癖であり、性癖に関する情報を子どもに教えないで欲しい。トランスジェンダーだとしても、あくまで生まれ持った身体が性別です。心は女性だと誰にも証明出来ない主張で女性スペースに侵入出来ると子どもに勘違いさせてはなりません。女性の人権を踏み躪るような人間に成長して欲しいです。
82	それ以外	何らかの属性による少数者が差別されない・差別的言動を許さないまち。属性は年齢、国籍、障害の有無・態様、性別・性自認、性的指向など多岐にわたるが、これら一切の差別を明確に禁止するまち。	子供は大人の態度を見て育ち、構造を再生産することがある。差別があれば差別を再生産し、逆に寛容があれば寛容が再生産されると考えるため。自分自身がいくつかの属性において少数者にあたるため。
83	それ以外	子どもの個性にあった多様な居場所、学びの機会があること。「子どもが無理に学校に合わせて、合わせられない子は不登校」ではなく、フリースクールやプレーパーク、地域のサークルなど。	
84	それ以外	大人がポジティブな声かけをしてくれるまち。お店とかすれ違った人に、可愛いね、お利口ねとか。大人にそういう余裕がある街かも。自然の美しさにあふれた街。子供の手本になるきちんとした優しい大人がいる街。	ポジティブな声かけは自己肯定感に繋がると思うし、他者との何気ない関わり合いを経験し、コミュニケーション能力を養うと思うから。子供には美しいものが必要だと、ある私学の校長先生が言っていた。子供騙しじゃなくて本当に美しいもの。自然の美しさに、木々や花ほど美しい物はないと思う。お手本のような大人の姿を見ていれば、自分もあいつ大人になりたいと、未来に目標が持てる。未来に目標を見る街がいい。
85	それ以外	幼稚園保育園小中学校のPTAを利用してピラ配り署名運動しない 子供のためにといいつつ政治思想のためだったではない PTAの抽選くじ引きの強制で親の笑顔が無くならない 大人が子供のいじめを作らない街	子供のためにと言って父母会やPTAを利用して、親睦ではなく署名活動があったらPTAは任意であるのに、加入しなければいじめられるという噂がある 役員決めは強制 心身をやられ家庭を居心地の良い場にできなかったから
86	それ以外	子供だけでなく大人同士も優しくコミュニケーションできるようなまちがいいです。	今年の4月に杉並区に引っ越してきました。子育て世代です。引っ越してから2週間ほど杉並区役所の方がきて、ご近所から通報があり、お宅に幼児虐待の疑いがあるので調査させてください、とのこと。我が家には8歳と2歳の男児がいてそれなりに騒がしいときもあります。当然2歳児は泣きます。ご近所の方は、その泣き声や遊ぶ声を聞いて幼児虐待と判断されたのでしょうか。けれども、本来は泣いていたら通報ではなく大丈夫ですか？と声をかける社会であってほしいと思いました。誰が通報したのかもわからないので、それ以来近所のひとに挨拶するのにも憚れるような気持ちを持っています。互いのコミュニケーションが足りなすぎて、悪意を持ちやすい気がします。顔の見える関係をつくりやすい=子供にもやさしいまちになるのでは。
87	それ以外	ボール遊びができること	息子たちが思い切りサッカーや野球をたのしめるところがなくて困ってます。
88	それ以外	思い切り体を動かして遊べる場所がある。しかも安全でキレイなトイレも必須。	そういう場所が少なすぎる
89	それ以外	公園に危険な物、ゴミ、タバコの吸い殻が落ちてないこと	3歳の男の子の母です。公園に行くたびに、タバコの吸い殻が落ちていたり、お菓子のゴミ、お酒の空き缶、ガラスの破片などがらあり、嫌な気持ちになります。ゴミ袋を持っている時は拾い持ち帰ります。特にヨチヨチ歩きの際は子どもがタバコの吸い殻を拾い食べそうになった事があり焦りました。マナーを守って公園を使ってほしいです。毎週何曜日この時間はみんなで掃除しよう！的なイベント？もあるといいと思います。そこで近所のママさんとも知り合いになれるので。
90	それ以外	安全に配慮されているまち。	公園での不審者対策、歩道と車道の整備など。安全なくて安心なし。この基本が整ってこそこのやさしいまちだと思うのです。
91	それ以外	子育てしている人、子供に対して優しく眼差しがあるまち	子供を5人育てていますが、子育てにおいてまずお金より必要なものが周囲の優しく眼差しだと思うため
92	それ以外	大人が良い見本になる街 大人が立場の違う相手を罵ったりしない、質問に答える、無視しないなど。「くびを洗って待て」とか言わない、書かない	今の杉並区は区長派も反区長派も目に余ることばかり。肩寄せ合い暮らしている節度ある多くの区民は、迷惑している。怖くて通れなくなった商店街もある
93	それ以外	子どもが遊んだり、大きな声を出したりを安全に見守る街。うるさいから、じゃまだから、とクレームを学校や警察に言わない街	実際に公園で遊んでいてクレームがあった。子どもの施設隣でうるさいと言われた。
94	それ以外	遊び場が沢山あるまち 安全なまち 自然があるまち	
95	それ以外	樹木がたくさんあり、自然であふれるまち。 子どもたちが、安心安全に走り回って遊べるまち。未来のために、樹木を切らないまち。	子どもたちの未来にとって、気候変動危機に直面している今、樹木をはじめ自然がたくさん残っていると、ヒートアイランドも緩和され過ぎやすい。また、今後夏の数ヶ月は、暑さで外で遊ばないため、夏でも走り回って遊べる場所の確保が、生育のためにも必要、

# ●Logoフォーム上での意見募集結果一覧（R5.11.4～R5.12.31） ※テーマ別、年代別、回答順

No.	年代	「テーマ1：子どもにやさしいまちって、どんなまち」についての思いや考え。	左記、理由
96	それ以外	住民同士が笑顔で声を掛け合い子ども達を見守る街。子ども達が危険を感じることなく、社会のルールや善悪を学びながら、自由にのびのびと暮らせる街	子どもの人権がきちんと尊重されていない、子どもが大切にされていない事が、数多の深刻な社会問題の端緒であるから
97	それ以外	車が走っていないで三輪車やロバが人を運び、歌やダンスが道端でできて道路に落書きしても誰も怒らない。暗くなってきたらウチまで送ってくれる人がいるまち	自然豊かで空気がきれいで急かされず、のんびりと好きな音楽と一緒に日々を送る。金儲けに頼らず文化的に豊かな生活こそが真に豊かで安全で安心できる社会だと思うから。
98	それ以外	子どもを地域で育てようとする風土、仕組みがあるまち。また、子どもを直接支えるだけでなく、子どもを支える人たちを支える仕組みがあるとよい。そうやって育った子どもは次の子どもを育てる人になると思う。	地域の力が失われている地域が多い。なんでも個別化が進み、公共性が弱体化している。コモンズの再生を。行政は教育には最低限だけ関わるのが望ましいと思うが、子育てにはしっかりと手を差し伸べる仕組みであってほしい。要望に応えるのではなく、できるだけプッシュ型で行政側からアプローチがあると良い。
99	それ以外	不登校にもやさしい町。居場所がある町。	小1不登校と幼児がいます。今まで引きこもりがちで外にでたがらなかったのですが、最近外に出てくれるようになりました。下の子どもと小学生と2人連れて、児童館にいくと、12時から1時までは小学生は遊ばせません。一度帰って下さいと言われても実際に連れて行っても行き場がないです。特例で認めていただくなど、なにか居場所ができれば嬉しいです。ルールはしょうがない。それを忠実に守る職員さんも素晴らしいとは思いますが、とても悲しく、虚しい出来事でした。
100	それ以外	プレイパーク	普段できない体験ができる
101	それ以外	子どもが目一杯遊べて、親も楽しめる場所がいくつもある街	山口県から引越してきたのですが、長男が東京（荻窪）には自由がないと言っていた。具体的に聞くと、ボール遊びや花火が家の近くでできないことに不満
102	それ以外	子どもが思いっきり声を出し体を動かして遊べる場所がある。失敗してもトライできる、間違える事に躊躇しない環境が子どものいる場所で提供されること。	わたしが幼い時代は大人達が怖く失敗が許されなかったのであまり新しい事にトライできなかった。苦手意識が一度つくと思えば思い込み何かに挑戦してみようと思えなくなるので学びの機会を奪っていると思います。
103	それ以外	子どもの"したい"をたくさん実現できるまち	子どもが何かを"したい"と興味関心を持った時、様々な理由でそれを制限または諦めさせる場面に多々遭遇します。  例えば 金銭面、既存のルール(ボール遊び禁止、学区制等)、環境(全天候型公園、ハイハイ期でも楽しめるような公園、学校、校庭)等。  それらが、子どもたちや子育て中の親等のリアルな要望に応える形で柔軟に変わっていきまち。それが実感できるまちが、「子どもに優しいまち」だと思います。
104	それ以外	子供を産み育てやすい経済環境(教育やそれに関わる費用の補助もしくは所得制限のない無償化)を整備している街。	子供を育てるにあたり1番の不安点は金銭面だと考えてます。現在、国では一部の子供に対して保育料や給食費の補助または無償化が行われておりますが所得制限や自治体施策により全ての子供が対象ではありません。 親の収入や住んでる地域によって子供への差別化をはかることは少子化が進む日本では望ましくなく、若い世代や第二子以降を望む夫婦にとってもマイナスです。 兵庫県明石市の様に自治体独自で給食、第二子以降の保育料の無償化など子育て支援に成功している事例もあります。国に歩幅を合わせるのではなく、自治体独自で本当に必要な支援を全ての子供達に実施すべきと考えます。 また、クーポン券や助成金の給付では利用できるものが制限されたり、本来子供の為にある助成金が別の用途に使われる可能性も踏まえて、(お金を)取って配る様な施策ではなく初めから(お金を)とらずに無償化する様な施策を実施することで直接子供に金銭面で還元できる仕組みを作っていただきたいです。
105	それ以外	①公園にタバコやゴミが落ちていない、②決まった場所・時間に花火ができる、③大人が周りを気にかけ声を掛け合うなど	①実際に見かけ、安全でないなど感じるため、②以前申請すれば公園で花火ができた時に通報されたことがあります。申請し指定の場所・時間で、すぐ近くに住居もないのにショックでした、③マンションの管理人さんや商店街の店主さんが良いお手本でありがたいです
106	それ以外	公園でボール遊びや鬼ごっこなどで、それに苦情がでないまち。	都会の公園の禁止事項の多さに驚きました。子供達がワイワイと遊べる場所が限られていて随分静かな公園が多いですね。小学生たちはいったい何処で遊んでいるんだろうか？ある日子供たちが公園でゲームをしていました。小学校高学年位だったと思います。僕は何故外でゲームをしているのか疑問に思いました。きっと最近の子供は外でゲームが流行っているんだと思いますが、自分の子供が小学生にあがった時に理解しました。外で遊べない。公園では苦情、迷惑行為が多く何もできない。となると駐車場や車通りの少ない道路などで遊ぶ事になります。公園で遊ばないで駐車場、道路というのは本末転倒ではないのか。何より危ない。もう少し大人達が余裕をもち見守れる社会になりたいものです。
107	それ以外	周りの大人たちが子供たちを見守り育てるような環境。	以前、学校帰りにお友達と道路（住宅街）の端でお話しするだけで、その近くのご近所の方からいきなり、うるさいやしてもない事を疑われた事があったので。
108	それ以外	公園で、学校で遊ぶ子どもたちにうるさいと怒らないまち	偏屈な老人の声ばかり拾わないで欲しいから
109	それ以外	大人の目がいつも子供に行き届いている町。困ったことがあったら手を差し伸べてくれる大人がそばにいる町。	大人が子供を守ってあげられる環境が良い町だと思うから
110	それ以外	安心安全は基本で、子どもが自由に遊べる場所があるまち。今日はボール遊びをしたいから公園、校庭開放へ、将棋、工作をしたいから児童館へ等子ども自身が選べるまち。	子どもは1人の人間です。子どもの意見を聞いてやさしいまちにしたいです。子どもから遊び場を奪うことは、子どもから発達を奪ってしまうことです。心、体どちらの発達も大切です。大人の役割は、子ども達の遊び場を作ることだと思います。どう考えても広場と児童館は必要です。公園はボール遊び禁止。ボール遊びができる囲いのある公園は杉並区にいくつかあるのでしょうか。せめて校庭開放で思いっきりボール遊びができればと思います。子ども達が児童館はいらないと言った話は聞いた事ありません。まずは子ども達の声を聞いてほしいとずっと思っていたので、このような取り組みに感謝しています。是非子どもの権利条約を実践して、やさしいまち目指してほしいです。
111	それ以外	子どもが学校から帰ってからも何の心配もなく遊べる場所、知識の有る方が見守ってる児童館です？	やはり、今は母親がお仕事してるので帰宅する時間まで安心してお願い出来る居場所が欲しいと思います。
112	それ以外	昔のように公園でのびのびと遊ぶ事ができる環境	公園なのに騒いだりボール遊びなどでできないから
113	それ以外	ある意味で親や学校にやさしいまち、だと思う。	子ども自身が育つための、経済的前提、親や学校への公的支援の制度、インフラの整備においてまだ不足が多い。
114	それ以外	子供の居場所が沢山ある街だと思う。	最近の杉並区は、子供達の遊ぶ場所が制限されているように感じています。公園の数がもともと少ないのに、そこに保育園を建ててしまったり、赤ちゃんから小学生までが集う児童館を減らしてしまったり、子供達は一体どこで遊んだらよいのでしょうか。学童に通っている子だけじゃない、夏の暑い日や雨の日でも誰もが遊べる施設が、身近なところにあるような街こそが子供に優しい街だと思います。また同時期に近隣の全公園の工事をするのは、避けられないことなのでしょうか。子供ファーストな街になることを心より祈ります。
115	それ以外	近所の大人が子供を見守るまち。公園で子供が安心して元気よく遊べるまち。	最近、公園ではしゃいだり遊んだりする子供たちを、残念ながら早く思わない大人が増えていると言います。その大人たちは、子供時代、公園で同じようにして遊んでいなかったのでしょうか？大人や高齢者だけの「環境の良さ」を求めているのは、子供たちはのびのびと育たず、やがて活気のないまちになっていってしまうでしょう。子供が子供らしく、ぞんぶんに元気に遊べる、それを大人が見守るまちが理想です。
116	それ以外	学童に通っていない子供にも、公園以外にも放課後の居場所があるまち	特に夏休みや夏の暑い放課後は公園に行くことができず、学童に通っていない子供が運動できる場所がありません。小学校の校庭開放やプールも、暑すぎて頻りに開放中止になるので、小学校の体育館を開放することを検討してほしいです。

●Logoフォーム上での意見募集結果一覧（R5.11.4～R5.12.31） ※テーマ別、年代別、回答順

No.	年代	「テーマ1：子どもにやさしいまちって、どんなまち」についての思いや考え。	左記、理由
117	それ以外	大人たちの優しい眼差しに見守られて子どもたちが安心して育つことのできるまちであってほしいです。	小学生低学年の子供がいます。 最近公園で遊びも制約が多く(ボールが使える場所が限られているなど)、我が子は思い切り遊びたいけれども我慢して遊んでいる状況です。 イライラした高齢者の方に注意されたり、正義感の強い子どもに注意されることも多いため、保護者が遅くまで見守りをしていますし、保護者も疲弊しています。 思い返せば私が子どもの頃は、公園遊びは特に制約がなく、危険なことややってはいけないことは自分たちで考えながら避けて遊んでいたように記憶しています。 細かい揉め事はあるにせよ、私の周辺の子どもたちは比較のお利口なお子さんが多い地域で、「?????してはいけない」を忠実に守っていますが、ちょっと頭の中が窮屈になっているようにも見えます。 公園ルールを少し緩和していただくことはできないでしょうか。とくに野球ができる場所が少なく困っています。 ネットが設置してある公園でもバット使用が禁止になっていますが、金属バットはダメだけどプラスチックバット、ゴムボールだったらOKなど、少し緩和していただけてもとても遊びやすくなります。 ネットの中はバットができないからと言ってネットの外(本当はダメですが)でプラスチックバットで練習する子もなくなります。近隣の方に文句を言われて傷つくこともなくなります。 真剣に困っているのでどうか真剣に検討していただきたいです。
118	それ以外	公園等で安全に遊ぶことができるまち	昔と違い、隣人との関係が希薄になり、気軽に挨拶できるような感じではなく、みんなで子供を見守るといったことがすくなっただと感じたため。
119	それ以外	子どもが大きな声を出しても穏やかな顔をしているひとが多い、またはそういう場所が確保されている。車や自転車がゆくり走る。	子どもへの優しさとして、こどもらしく大きな声を出しても許される環境があること、安全であることが大切と思ったから。
120	それ以外	子どもが子どもらしくいられる居場所がある街	子どもが大人化していて、本来の子どもの時間なくなっていると感じるから。どんな子にもその子の子ども時間をすごせる場所が大切だと思う。
121	それ以外	子どもにやさしいまちは、ズバリ！ ①作戦会議があふれるまち ②作戦マンが学校に！？ ③【やりたい】【なりたい】を引き出すまちです。	①「子どもにやさしいとは？」→それは、子どもが真ん中であるということ。 「子どもが真ん中って？」→それは、大人の意見や押しつけにおびやかされることなく、子どもがやりたいことを自分らしく実現できること。それを叶えられれば、子どもの目が輝き、子どもの無限の成長を育めると思いませんか？それを叶えられるのは、「CO-OP（コアップ）アプローチ」です。これは、子どもの「できた！」を叶える、ワクワクする手法です。子どもが選んだ目標から始まり、子ども自身で解決法を発見し、スキルを身につけていくアプローチで、カナダの作業療法士によって開発されました。作業療法士は、教える・指導するといった一方的なやり方ではなく、本人中心でどうしたらその人らしい自己実現ができるか？を考えます。コアップは、子どもの視点が尊重され、子どもの目標が最優先され、子ども中心の哲学に基づいています。その目標が達成されるように、大人は「作戦会議」を通してサポートします。子ども中心の「作戦会議」が、地域で展開されていることこそが、子どもまんなかのやさしいまちです。子どもをまんなかにしながらも、子どもの生きる力を育みます。 ②作戦会議が地域に根付くつあるまちがあります。岐阜県飛騨市です。飛騨市には、学校に作業療法室があり、楽しく作戦会議ができる文化が定着してきています。作業療法士は、子どもの特性の見立てを行い、将来のなりたい姿と一緒に描いていきます。なりたい姿になるためには、作戦会議です。作戦会議が根付いたことで、クラス全体がお互いを支え合う関係になり、先生の手数を減らし、先生が働きやすくなる効果も出ています。これは子どもの問題にフォーカスした対症療法ではなく、根本療法であるため、不登校や自殺の予防にもつながります。 ③子どもがなりたい姿に向かうためには、あんなこと「やりたい」こんな風に「なりたい」というイメージが必要です。それにはモデルが必要で、少し年上のお兄さん・お姉さん、大人が生き生きと地域で暮らしている姿が身近にあることが大切です。子どもの「やりたい」「なりたい」を引き出すために、多世代交流の場が必要です。そしてその交流の場でもみんなで作戦会議。子どもの「やりたい」「なりたい」を引き出し、どうしたらそれを叶えられるか。それをみんなで作戦会議ができるまちが、子どもにやさしいまちです。